速報　ＪＲ総連緊急対策本部情報
ＪＲ総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報
2011年３月30日
19：00発行　№28
発行：全日本鉄道労働組合総連合会

頑張ろう！被災者のみなさん。

逃げ場のない大津波

陸前高田②

支援行動レポートvol.15

【24日 陸前高田市】

陸前高田市の竹駒町から海に面した高田町に入ると、さらにさらに驚くべき光景が飛び込んできました。

市内は、大津波が全ての物を押し流し、鉄筋の建物がわずかに残っているだけです。岩手県立高田病院の建物がありました。地震の翌日、建物の屋上に「ＳＯＳ」の文字で救援を求めた映像が報道されていたあの建物です。建物はだいたい４階の高さまで海水に浸かっています。ＪＲ陸前高田駅ではホームは残っていたものの、線路は流されています。「これじゃぁ、どこに逃げればいいの？」「皆、どこに逃げたの？」と、助かった人がいることが不思議なくらいです。人口23,300人の陸前高田市だけでも犠牲者は993人、行方不明約1,300人、避難者約13,400人という数(３月30日『朝日新聞』)からも、地震規模の大きさが計り知れます。

この壊滅した被災地に立ち、改めて、自然の中に生きる自分たちは、なんともちっぽけな存在であると実感しました。今だからこそ問われるのは、全ての人たちの協力、連帯、絆だと思います。私たちに出来る事をコツコツと積み重ねていく事、この事が復興への力になる事を確信し、自分自身に向き合いながら生きていこうと決意を新たにしました。

（ＪＲ総連組織共闘部長・黒田弘樹）

【写真上から】ＪＲ陸前高田駅／屋上で患者・医師らが避難を求めた岩手県立高田病院／町の水没を報道するＮＨＫニュース(3/12)／流されたレール